

知事コメント

令和3年1月14日(木)

本日、県内で新たに70名の新型コロナウイルス感染症陽性者が確認され、これまでに確認された感染者数は6,000人を超えております。

県内の感染は、社会活動が活発な若者を中心に拡大しており、正月休み中の飲み会や親戚回り、県外からの移入例などが多くなっています。先週の成人式を含む3連休の影響で、今後も感染が拡大することが懸念される状況です。

全国各地でも、爆発的な感染拡大が続いており、1都3県に引き続き、大阪府など7府県が緊急事態宣言の対象地域に追加されたところであり、今後も移入例からの感染拡大について警戒が必要です。先ほど、高山先生から疫学統計解析チームによる県内の現状と推定について報告がありました。実行再生産数は1.69と高くなっており、今後1週間の新規感染者数は500人から800人と推計されています。今後急速に感染が拡大し、入院患者数は夏の流行時を上回る可能性があることも示されています。このまま本県の感染拡大に歯止めがかからなければ、県としても、より強い措置や制限を選択せざるを得ない状況となってしまいます。

国内で初めて感染者が確認されてから1年が経過しました。この間、新型コロナに関するニュースが毎日毎日報道され、感染拡大防止対策に疲れ、心や行動に「馴れ」が生じている方も少なくないと思います。

しかしながら、新型コロナウイルスの攻撃は少しも衰えてくれません。我々が油断したところや、弱点を突いて勢力を拡大し、高齢者や基礎疾患のある方々を重症化へと追い込んでいきます。

そのような中、検査機関から陽性者と診断されながらも入院や療養を拒んだ事例、保健所から濃厚接触者と認定されながらも外出した事例、体調が悪いにもかかわらず旅行や会合に参加した事例、時短要請に応じない店を転々とハシゴして感染が連鎖した事例など、感染拡大防止に協力していただけない事例が散見されています。

県では、エビデンスに基づいて感染症対策への協力を求めています。そのご協力が得られなければ、あなただけではなく、あなたの大切な人や、あなたの知らない誰かに感染を拡げる恐れがあります。協力が得られない場合、あなたやあなたの周りの人を守ることができません。

また、感染拡大を防ぐには、職場や友人など周りの協力も必要となります。体調不良時には、しっかりと休みが取れる環境や、三密回避、適切な換気などに理解や

協力が得られる環境づくりが重要です。友人同士の集まりの時にも、お互いに声を掛け合って、マスクの着用や手指消毒、会食も少人数・短時間・早めの帰宅となるよう、協力し合える関係づくりが必要となります。

感染拡大を抑え込み、社会経済活動を回復させていくためには、県民や来訪者一人ひとり、事業者の一社一社が、一丸となって感染拡大防止に向け、理解し、協力していくことが必要不可欠です。

みんなと一緒に頑張って新型コロナの感染拡大を抑え込んでまいりましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。